



お客様紹介
T社様



新しい工場・作業場が欲しい



今回ご紹介させていただきますのは、T社様の工場です。
 「事業拡大の為新しい工場・作業場が欲しい」とのご相談を頂き、弊社の設計・施工のもと工事をさせていただきました。
 T社様は、竹をはじめとする建築内装材の製造販売を中心に営業されております。
 外部巾木の色は、お施主様が販売されていらっしゃる、竹をイメージした緑を選定していただきました。
 色鮮やかな緑と外壁のブラウンで、とても綺麗な仕上がりとなりました。
 また、屋根はお隣にある既存建屋と同等色で仕上げております。



にぎわい

【発行元】 第216号
 株式会社 大兼工務店 いちご倶楽部
 0748-42-1151

◆お客様紹介 T社様
 ◆特別安全研修
 ◆地域のお役立ち推進委員会

◆きりまちの人 大久保 弥一様
 ◆シャンフリーズ守山6丁目
 ◆Dタイム/Information

地域のお役立ち委員会です

だいかね春祭り 開催

3月4日 土曜日

9時半～16時

だいかね工務店

本社駐車場

フリーマーケット&キッチンカー
出店者募集中!!!

フリーマーケット | 区画¥500

キッチンカー・屋台等 | 区間¥1,500

出店希望、お気軽にお問合せ下さい。

天候や状況により、変更や中止の場合もございます。
 詳しいイベント情報は、公式LINE、instagramで
 ご案内いたします。



公式LINE

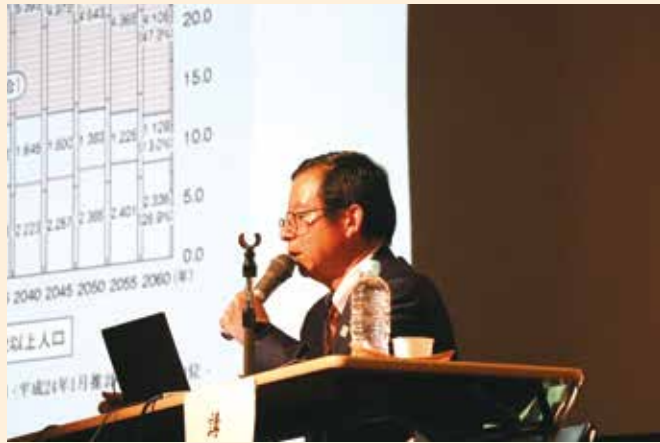


だいかねのいえ



だいかね工務部

特別安全研修 を開催いたしました



例年通り、(株)大兼工務店安全協議会 特別安全研修会を東近江市五個荘コミュニティーセンター様にて開催しました。

オンライン参加を含めたハイブリット開催にて、200社を超えるパートナー企業様にご参加いただきました。

今回は、滋賀ダイハツ販売株式会社 代表取締役会長 後藤敬一様にお越しいただき、「してさしあげる幸せの実践」と題してご講演いただきました。

講演内容の五幸の基本方針とは

1:社員の幸せ 2:お客様の幸せ3:お取引店様の幸せ 4:ダイハツグループの幸せ 5:地域の人々の幸せ の五つです。
 身近な人を大切にすることで、やがて地域の人々の幸せにつながるということを学びました。

また、当社が現在取り組んでいる環境整備も更なる充実を図り、整った作業環境の中で、お客様のご要望に敏感に気づき、迅速なサービス提供・品質向上・そして安全な現場運営を実践して参ります。

キラリ まちの人

大久保 弥一さん



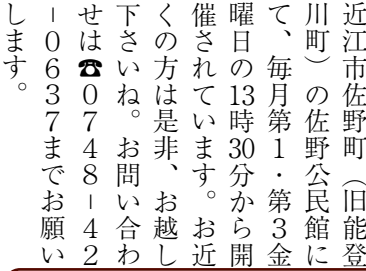
今回は東近江市布施町（旧八日市市）で工房を構えておられます、陶芸家の大久保弥一さんをご紹介します。

八日市の大風通りを走っていると、未来ヶ丘団地（今堀町）の入り口にクリスマスツリーをイメージした大きなモニュメントがあります。常夜灯の様に光を放ち、鐘の音で時を告げるモニュメントは、大久保さんの作品です。陶芸家なにも思われる方もあるでしょうが「これだけ大きい物となると、自然環境にさらされる間に歪みや割れも生じやすいので、焼き物を断念してステンレスを使って作ったんですよ」と話されます。

子供の頃からモノづくりや絵を描くことが好きだった大久保さん。高校の美術部で描いた油絵が、市展で特選を取られたこともあり「将来は絵描きにならねばいいいなあ」と考えられていたそうです。しかし、高校卒業後はポンプを製造する会社に入社され、ポンプの設計をされました。その間も働きながら、大久保さんは創作活動を続けられますが「自分一人の手でモノ作りがしたい」と思う気持ちが募るばかり。20才になった大久保さんは一大決心をされます。「明確なビジョンはなかったけれど、好きか嫌いで決めました」と大久保さんは笑われますが、陶器の神秘と魅力に導かれ、信楽焼を身近な日常のモノで表現しよう



とされていた、小島太郎さんに師事されました。「青年の芸術集団の様なものだったオリジナル工房に入って、ハンドメイドで日用使いができるクラフト、民芸品のヨーロッパ版という感じのものづくりを参画しました。商品開発が好きで、主にサンブルづくりをしていましたね」と話されます。それから7年後の第二次オイルショックのあおりで、オリジナル工房は解散します。「陶芸技術も体得していたし、世代感覚の違いというか、作風の違いを感じ始めていた時でしたから、これを機会に独立を決めました」と笑われます。制作拠点を自宅に移し、79年から滋賀県展、信楽陶芸展、朝日陶芸展などに毎年入選されます。82年からは地元を中心に、積極的に個展を開催。92年には滋賀県立陶芸の森の研修作家となられ、以来世界各地からの陶芸家に参加される、アートレジデンスに参画されています。また陶芸の楽しさを広めたいと、東近



江市内で陶芸教室も開催されていますから、一度足を運ばれてみてはいかがでしょうか。大久保さんの作品は今まで培ってきたクラフトの延長線上で、灯りと器と鉢に「自分らしさ」を主張されるものです。特に食器の各シリーズは、同じ作家が作られたものとは思えないほどバリエーションに富んでいます。大久保さんの多感な感性からなのか、商品開発魂からくるものなのか、その発想力には驚くばかりです。自分しかできない作品創りを常時考えている大久保さん。「自分が死んでからも作品は何十年も残る。そんな生きた痕跡を残したい」と創作活動の意気込みを話されます。



益々のご活躍が楽しみです。現在、信楽の「shop & gallery 陶夢」にて2/19まで「大久保弥一 陶展」が開催されています。是非、大久保弥一ワールドを体験してみてください。

陶芸塾のご案内。東近江市佐野町（旧能登川町）の佐野公民館にて、毎月第1・第3金曜日の13時30分から開催されています。お近くの方は是非、お越し下さいね。お問い合わせは0748-4814210637までお願いします。

「遊工房」 ☎ 0748-23-1597 〒527-0081 滋賀県東近江市布施町545

ありがとうマンが贈る ~心に残るありがとう~話

なんの変化もない当たり前の毎日。そんな日々について今一度考えてみる機会になるお話と出逢いました。では、始まり、始まり・・・。

「空気」
ある女性のご主人はとても真面目な人でした。
毎日のようにお酒も飲まないでまつすぐ帰宅し、休日は家で本を読んでいるような人でした。
結婚するときは真面目な人と結婚するのが一番幸せだと思っていたのですが、もともと二人で旅行にいったり、スポーツをしたり、外食をしたり色々な体験をしたいと思っていた女性は、ご主人のこの性格をだんだん不満に感じていました。

「あなたも私に言いたいことがあると思うの。せつかつだから言ってくれない？」
と尋ねるとご主人はやっと口をひらき
『私の望みはあなたが幸せになることだけだから・・・』と女性をみつめて一言だけ話しました。

身近な人間関係では、相手の【してくれること】が空気とおなじで当たり前になってしまい【してくれないこと】にばかり目がいき不満に感じてしまいがちです。このご主人のように相手の幸せを願うこと。思いやる気持ちはとても大切ですね。当たり前を感じていること、なんの変哲もない毎日こそが本当はとてつもなく幸せな事なんだと・・・。

【してくれないこと】に不満をもつのではなく【してくれること】に感謝をすることが大切ですね。

by ありがとうマン

地元の風土を知り尽くす 守山在住の一級建築士 北脇一郎氏が建てる家

シャン・フレイズ守山6丁目

Champ Fraise Moriyama

2010年グッドデザイン賞住宅部門受賞の建築家による設計デザイン監修。至高の住まいと暮らしを実現する、完成された上質の時間を。

【土地販売価格】 2,179万円～2,411万円

ENVIRONMENT [周辺環境]
衣食住の施設が徒歩圏内。豊かな自然と高い利便性を両立。

DIVISION [区画図]
全区画51坪以上のゆとりある広さを確保しました。

MAP [地図]

◆シャン・フレイズ守山6丁目 お問い合わせ・資料請求は
株式会社 大兼工務店 ☎0120-15-4939

〒521-1222 滋賀県東近江市佐野町747-32F TEL:0748-42-4435 FAX:0748-42-4141

Instagram フォローする お願いします。

だいかね My star

aquitas+

だいかねの家

TEAM DOBOKU

YouTube チャンネル登録 お願いします。

だいかねの家_大兼工務店